

平成 30 年 7 月 6 日

**公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会議事録（7 月期）**

【出席者】（敬称略）

濱田、石丸、一政、岡部、片桐、木村、佐藤、高木、葉木、若笠、

事務局：天寺、濱口

沢野推進委員会委員長、オブザーバー：森村

1. 濱田代表理事 挨拶
2. 推進委員会沢野委員長 委員会報告
巻末添付_「事業報告と今後の予定」のとおり。
3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク報告
巻末添付_「運営委員会議事」を参照
 - 4/24 付で募集した寄付金は 470,000 円(6/28)寄付が集まった。今後も継続していくが、寄付金の半額は SL 活動金として、災害対応積立金、公開講演会の費用に充てる。
 - 6/12,13 第 3 回「災害時の連携を考える全国フォーラム」に片桐が参加。内閣府も年々力が入っており、協賛企業も増えている為、主催の JVAD と繋がりを作る必要があるか？まずは JVAD という組織を理解する必要がある。次回運営委員会にて天寺より報告。
 - 7/2 に災害時の住環境・生活環境/アレルギー EXPO2018（10/15-16、京王プラザホテル）の打合せを主催者側と実施(濱田、天寺)。出展料、諸費用については主催者、事務局で再度打合せを実施。企画委員は石丸、木村。
 - 「非常用炊出袋をつかった災害食レシピ」集を作成する。企画委員は石丸、木村、三澤、義元、平田。イラストレーターは川島。
 - SL 企画セミナー第 4 弾は 12/3,10,17 で調整。一政にて DIG を実施。
 - 7/11 「災害時マンション炊出し」富士見区民間 18:00～当日一人 500 円徴収。9 月から 12 月までは、第 3 水曜に変更して実施予定。
 - 6/23 SL 第 2 回全体ミーティングにて「なまずの学校」実施。時間配分や対象年齢を考えて実施をしていく。資料のプラスアーツの電話番号が古い為、メンバーに周知。
 - 「災害時トイレ事情」は 12 月を予定で進行する。会場立地場所によってテーマに変更ができる為、先に会場を決定する。候補会場は ホクトピア(北区) 専修大学(千代田区)。講演会講師は案として徳島県職員、トイレ研究所、男女雇用参画が候補。
 - スフィア基準「被災者支援のための国際基準を学ぶ研修会」は来年 2 月を希望で天寺が JFAS の岡野谷代表に改めて希望する。参加費用は 1 人 1 万円。
4. 各地域の活動報告
 - 千葉県ネット（片桐）
 - 7/17 千葉県ネット役員会
 - 船橋ネット（片桐）

- 防災会議に出席。インフラを担う事業者を中心に災害時の対応について確認した。また、船橋市避難所運営マニュアルの改訂版が完成した。
- 8/26 市防災訓練。ペット、給水、土砂災害対策、津波非難、障がい者団体との避難所運営訓練を実施予定。

市原ネット（片桐）

- 6/2 市共催、土砂災害避難訓練実施

流山ネット（岡部）

- 6/24 流山7丁目町会にて、第6回安否確認訓練(100世帯対象)実施。実施率87%。安否確認訓練後、「わが命を守れるか」をテーマとして講演会実施。ダンボールトイレ、三角テントも作成。参加者48名。

埼玉県ネット（若笠）

- 6/19 「市民防災フェア」朝霞市役所へ申し込み完了。
- 川口市 2月防災フェアに向けて企画書提出。出展可否は7月下旬に決定。
- 8/3 日本工業大学で救命講習会を実施。

横浜ネット（一政）

- 6/14,15,27 神奈川県教職員向けのDIG研修実施。
- 6/20 防災ギャザリング実行委員会があった。高松SLが代表の話しあり。今後も調整。
- 8月末 初音ヶ丘小学校 防災キッズ実施予定。
- 瀬谷西高校 7/30DIG職員研修実施。まとめの依頼有。

川崎ネット（佐藤）

- 会則の作成。来週より川崎市民活動センターと社協に提出。
- 高津区8月末「子ども防災教室」参加。内閣府のビデオを使い防災クイズを実施予定。
- 中原区 社協より30分講話依頼。7/9週打合せ。

西湘ネット（石丸）

- HUGを実施した。避難所内での帳票の流れを中心に議論

湘南ネット（葉木）

- 6/21 米国海軍病院船マーシー寄港に伴うシンポジウム参加

ざまネット（濱田）

- 6/10 マイ発電所プロジェクト累計70基に到達。11月にも実施予定。
- 6/13 教師33名を対象に防災教育。CATの考え方を伝えた。
- 6/28PTA委員会役員を対象に防災食を作って食べさせる訓練を実施。
- 7/13,14 津久井高校(定時制)ではSLより7名参加予定。
- 8/4,5,12 に県央相模原SL講座実施決定。受講者募集中。
- 8/16-17 サマーボランティアを実施。16日は防災WS3:3:3と普通救命。17日は座間消防による実技訓練。
- 8/26 県市合同訓練海老名市で実施。ボランティア参加の要請なし。

【次回の開催日】

2018年9月7日（金）13時30分～運営委員会

開催予定場所：かがやきプラザ

2018年6月の事業報告と今後の予定 (6.8 7.5)
(7月6日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

はじめに

- ・大阪府北部地震
- ・S L 寄付金
- ・7/1 事務局での担当替え

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

北朝鮮情勢 6/12 米朝首脳会談

1-2 災害,大規模事故分野

国内 ア 地震(気象庁発表で震度5強以上,首都圏は震度4以上、内閣府掲載)

日時	震央	M	深さ	最大	地域
6/16 11:09	千葉県北東部	4.4	26 km	4	一宮町、長生町
6/17 15:27	群馬県南部	4.6	14 km	5弱	渋川市
6/18 07:58	大阪府北部	6.1	13 km	5強	高槻市他

イ 風水害(土砂含む)(内閣府掲載を主に対象)

6/29 関東甲信越地方 梅雨明け 観測史上最短?

進行中:台風7号及び前線による被害 記録的短時間大雨情報

ウ 事故等

6/09 21:45頃 新幹線車内での殺傷事件 列車テロの課題

エ 火山等 噴火速報

6/22 09:09 霧島山(新燃岳) 爆発的噴火

桜島 噴火継続

海外 ア 地震(USGC発表、日付UTC、Mw7以上又は報道等で犠牲者多数)

日時	UTC	震央	M	深さ	国	死者
----	-----	----	---	----	---	----

イ 火山(日付UTC) (中南米で火山噴火が相次ぐ)

6/04 03:22 中南米グアテマラ・フエゴ噴火 死者114人 6/14

6/17 ガラパゴス初等 クンブレ山噴火

6/21 05:34 ニカラグア テリカ山噴火

6/26 ガラパゴス諸島 シエラ・ネグア噴火

7/2 インドネシア・アグン山マグマ噴火

ウ 風水害、エ 事故等

オ テロ等(公安調査庁世界のテロ等発生状況等より)

1-3 防災行政等の動き

ア 政府

中央防災会議 ・6/29 防災基本計画修正

[内閣府] ・6/12 防災白書 平成30年版閣議決定

[推本] ・6/26 全国地震動予測地図2018年版

[防災科研] ・6/11 房総半島沖で「スロー地震」検出

イ 自治体

ウ 東日本大震災

・6/29 復興庁 避難・転居者数 6万 1561人 前月比 - 3,008人 6/14 現在

オ 防災訓練等

・九都県市合同防災訓練

1-4 災害ボランティア等の動き

ア ・災害時の連携を考える全国フォーラム 6/12-13 東京

1-5 注目すべきメディアと書籍等

ア TV [NHK] イ 書籍

・防災専門図書館 日本都市センター会館内(平河町)

2、この間の主な活動と今後の予定

2-1 社会貢献活動：災害ボランティア

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア S L 講座 10,141人 公認講座 2,500人弱* 計 12,740人

イ 本部主催のS L 養成事業

・[予定]8/4-5-12 座間市連携講座

・[予定]8/10-11-12 一橋大学講座

・[予定]8/18-19-25 東京大学地震研究所講座

ウ 大学等受託のS L 養成事業

6月 専修大学、法政大学、明治大学

エ 団体等での養成事業 基幹労連

B、防災/減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

イ 他主催の事業への協力

ウ 他主催の事業情報

C、S Lネットワーク/災害ボランティア活動報告

ア 会議等

・[事務] 寄付金の状況 目標 100口、30万円以上

イ 行事等

・[報告]6/23 全体ミーティング

2-2 総合防災事業

A、シェイクアウト事業（防災訓練事業）

ア 到達点 2018年 国内累計約 124万人

イ 今年度到達

B、防災教育推進事業

ア 防災教育チャレンジプラン・内閣府共催事業

イ 防災教育普及協会事業

・[報告]6/3 指導者セミナー水害編 /

・[報告]6/3 社団総会

- ・ [予定]7/7 防災ゲームデー
- ウ 学校・団体等防災教育推進事業
- ・ [各地]学校での防災教育支援

C、防災研究事業

- ・ [報告]6/22 首都圏レジリエンス

3、広報等

- A、広報 S L レター 6月下旬発行

以上

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
7月6日運営委員会(13:30～16:00) 議事

1. 濱田代表挨拶
2. 災害救援ボランティア推進委員会防災事業報告 沢野委員長
3. 報告・議案など
 - 3.1. 報告事項

寄付金状況

6/28 時点で総額 470,000 円 (計 99 件)

税額控除を目指すためには、5 年間平均して 100 件が要件 (理事は件数に含まれない)

6/12-13 第 3 回「災害時の連携を考える全国フォーラム」主催 JVAD

片桐 SL が参加。報告。

災害時の住環境・生活環境/アレルギー-EXPO2018 の出展について

期間：10 月 15 日 (月) 16 日 (火)

会場：京王プラザホテル

7/2 主催者が打合せにくる。濱田・天寺で対応。今回は非常用炊出袋を前面に出した展示をすることで合意。出展料は公社 SL ネットで一部負担となる。

> 添付資料・チラシ

「非常用炊出袋を使った災害食レシピ」集の作成

・NewsLetter6 月号で 企画委員を募集 (男女問わず調理経験のある SL) イラスト描ける SL を募集する。

企画委員は今のところ連絡ナシ 川島外志美 SL (豊島区在住) から連絡あり

3.2. 2018 年事業内容の確認と報告

SL 企画セミナー第 4 弾は未定

SL 防災談話室第 6 回

7/11 災害時マンション炊出し (料理室使用) 富士見区民館 18:00～

9 月災害時トイレ事情

SL 全体研修「第 2 回全体ミーティング」

6/23 市ヶ谷 TKP カンファレンスセンターにて実施

…管浪 SL を講師に防災教材「なまずの学校」を体験した上で、地域活動について意見交換。参加者 40 名 > 添付資料・第 2 回 SL 全体ミーティング参加者の感想

3.3. 提案事項

「災害時のトイレどうする」講演会&シンポジウム企画について

➤ 添付資料「災害時のトイレどうする」講演会&シンポジウム～少しでも安らくために
実行委員：葉木、岡部、佐藤 から経過報告

スフィア基準「被災者支援のための国際基準を学ぶ研修会」

担当者：天寺

進捗状況：JFAS 代表岡野谷先生から講師の内諾を得られた。来年 1 月～2 月の 2 日間・平日で調整。場所はかがやきプラザを予定（2 ヶ月前からの予約 そこから広報）費用は、1 人 1 万円×人数を支払う。現状 30 名を予定。講師 3 名（JFAS 以外に JICA 認定インストラクター 2 名）。テキスト・講師料・修了証発行料として。

4. 次回運営委員会

2018 年 9 月 7 日(金) 13:30～16:00

8 月は休会

9/7 は理事会開催 10:00～12:00

以上